資料１

旧中島地区被爆遺構展示解説等整備に関する意見交換会の実施結果

旧中島地区被爆遺構展示解説等整備に当たり、その内容に関する意見交換会を実施した。その概要は次のとおりである。

１　概要

⑴　日　時　令和３年１０月１８日（月）１４：００～１５：００

⑵　場　所　ＪＭＳアステールプラザ　４階　大会議室Ａ

⑶　内　容

ア　旧中島地区被爆遺構展示解説用映像コンテンツ（案）について

イ　旧中島地区被爆遺構展示解説パネル（案）について

⑷　参加者

平和記念公園における旧中島地区被爆遺構の展示整備に関する懇談会委員２名

⑸　来場者

広島平和記念公園被爆遺構の保存を促進する会の会員１名

２　主な意見（概要）

・　（日本語、英語、点訳を用意することについて）見学者は、子ども、大人、老人、車椅子の方など多岐にわたると思うが、最大公約数でいいと思う。

・　広島平和記念資料館本館の地下を発掘したときに、江戸時代の甕棺（かめかん）も出てきており、長い歴史があるわけで、城下町やその前からの様子を示すのは大事なことだと思う。

・　爆心地からの距離、放射線、爆風、熱線の強さなどを書いてほしい。

・　映像コンテンツに、発掘調査、バラック、復興事業に関する写真や絵を足してほしい。

・　天神町筋に面する玄関という感じで、天神町筋から家の玄関に入っていくというところを配慮してほしい。また、人の温もり、暮らしを考えてもらえるような展示にしてほしい。

・　展示箇所の住人について、「はっきりとしたことは言えないが、こういう方だったかもしれない。」と言えるように努力してほしい。